

「慰安婦」
暴言

撤回・謝罪し市長やめよ

橋下氏 メディアに責任なすりつけ

橋下氏は27日、日本外国特派員協会で記者会見。「慰安婦」について「必要なのは誰だってわかる」という最も重大な発言については謝罪も撤回もせず、責任を転嫁しました。誤解の余地なし

橋下氏の発言（別項）は誤解の余地などありません。ところが、会

見は「誰だって」の中に“自分が入っていない”というもので、「誤解」を生んだのはメディアの「誤報」や国民のせいになりました。

他国の軍隊を例に日本だけがなぜ責められるのかというも、“他人も泥棒をしているから、自分もしてもいい”という開き直りです。

橋下氏の13日の発言 「銃弾が雨嵐のごとく飛び交うなかで命がけで走っていくとき、猛者集団を休息させてあげようと思ったら慰安婦制度が必要なのは誰だってわかる」



元「慰安婦」面会拒否し、引退求める

橋下氏との面会が予定されていた元「慰安婦」の韓国人女性2人は、暴言を撤回せず強制性を否定している橋下氏は「面談の対象でなく『審判』の対象」として面会を拒否。

「犯罪に等しい妄言を撤回し、公式謝罪をしなければならない。政界から引退することを望みます」との声明を出しました。



平和への訴えを行った元日本軍「慰安婦」の2人

「面会」政治利用の狙いを白状

「維新」の中山成彬代議士会長は元「慰安婦」の面会拒否について、ツイッターで「橋下氏に強制連行の中身を鋭く追及されるの

を恐れたか？ 化けの皮が剥がれるところだったのに残念」と中傷しました。橋下氏が面会を、謝罪ポーズの場として政治利用しようとしていたことを白状しました。

安倍首相の責任重大

歴史ゆがめる発言口火

橋下暴言が問題になっていますが、歴史歪曲発言の口火を切ったのは安倍首相。その責任が問われています。

■河野談話について「河野談話の核心は強制連行。朝鮮半島で家に入り込んで強制的に女性を人さらいのように連れて行く、こんなことを証明する資料はなかった。新たな談話を出すべきだ」(12年9

月、自民党総裁選)

■過去の植民地支配と侵略を謝罪した村山談話について「安倍内閣としてそのまま継承している訳ではない」(4月22日、参院予算委)

■侵略否定「侵略の定義は学界的にも国際的にも定まっていない」(4月23日、参院予算委)

日本共産党

維新 そろって暴言擁護、開き直り



石原慎太郎共同代表「軍と売春はつきもので、歴史の原理みたいなもの」「橋下氏は基本的に間違ったことはっていない」



松井一郎幹事長(大阪府知事)「現実に(慰安婦制度が)あったということは、必要とされていた(ということ)」



平沼赳夫代表代行「従軍慰安婦と言われている人たちは『戦地売春婦』だ」